



倭文小で平和学習 「今を一生懸命に」



バレエの足のポジションを教わって実践する児童たち

平和学習の一環として3月6日、世界的バレエダンサーで淡路島在住の針山愛美さんと、ウクライナから避難してきたソフィア・シェイコさんによる出前授業が倭文小学校でありました。児童61人がウクライナの状況を聞いたり、バレエの動きを実践したりしました。

ロシアによるウクライナ侵攻から避難したバレエダンサーを支援する針山さんと、バレエを続けようと来日したソフィアさん。2人は「普通の毎日がどれだけ平和かを感じて、今を一生懸命に生きてほしい」と児童たちに語りました。